

「再犯防止×地方創生」トピックス

第二次再犯防止推進計画が閣議決定されました！

令和5年3月17日、第二次再犯防止推進計画（計画期間：令和5～9年度）が閣議決定されました。

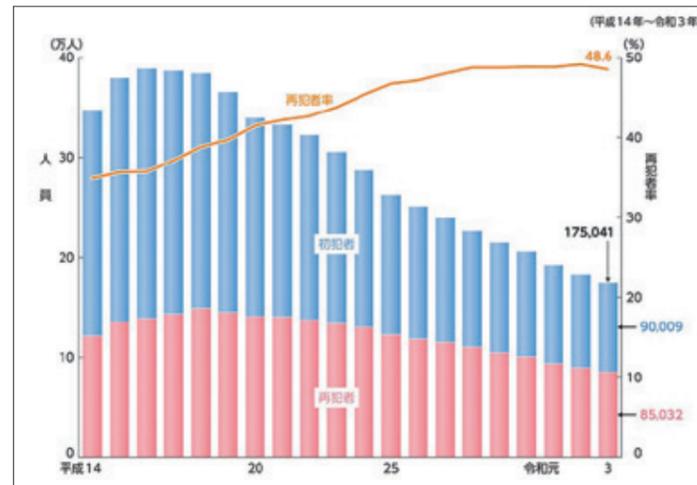
我が国の刑法犯の認知件数は近年減少を続けており、令和3年には56万8,104件と、戦後最小となっています。一方で、刑法犯検挙人員に占める再犯者の人員の比率（再犯者率）は上昇傾向にあり、下のグラフにあるとおり、令和3年には48.6パーセントとやや低下したものの、依然としてほぼ半数が再犯者という状況にあることから、政府は、新たな被害者を生まない安全・安心な社会を実現するために、再犯の防止等に向けた取組が重要であるとの認識の下、平成29年、第一次再犯防止推進計画を策定しました。

第一次再犯防止推進計画においては、「地方公共団体との連携強化」を含む7つの重点課題が示されました。国と地方公共団体の協働による「地域再犯防止推進モデル事業」等が実施されるなどし、令和4年10月1日現在で402の地方公共団体で地方再犯防止推進計画が策定され、地方公共団体

における再犯防止の取組も相当進んできています（特に矯正施設所在自治体においては、113自治体中、およそ3分の2にあたる74自治体において地方再犯防止推進計画が策定されています。）。

こうした状況を踏まえ、第二次再犯防止推進計画では、「地方公共団体との連携強化」を更に発展させた新たな重点課題として「地域による包摂の推進」が掲げられました。この重点課題においては、国と都道府県、そして市区町村の役割が初めて示されたほか、本文中には、「矯正施設が所在する市区町村等と連携協力し、再犯防止にも地方創生にも資する取組を一層推進する」という、矯正施設所在自治体会議が実現しようとしている取組と軌を一にする文言が記載されました。

第二次再犯防止推進計画は、法務省ホームページでも公開されています。下のQRコードからぜひアクセスしてみてください。



法務省ホームページ「再犯防止推進計画紹介ページ」▶



刑法犯 検挙人員中の再犯者人員・再犯者率の推移 (法務省資料から)

（事務局から）

このたび、矯正施設所在自治体会議会員の皆様に、当会議の目的である「地方創生にも再犯防止にも資する取組」について、会員による実践状況なども含めてお伝えしていくため、機関誌「そうせい×きょうせい」を発刊する運びとなりました。今後、四半期に一度程度を目標に、定期的に発刊して皆様のお手元にお届けできればと考えております。

今回は創刊号ということで、事務局である美祢市における取組を紹介させていただきましたが、次号以降は、会員の皆様から原稿を募集させていただき、順次御紹介をしていきたいと考えておりますので、「わがまちの取組を紹介したい。」という自治体の方にとっては、ぜひ事務局に御連絡ください。

Revitalization

そうせい

×

きょうせい

Correction

Vol.01
2023 Spring
創刊号

- 美祢市の御紹介
～美祢社会復帰促進センターとの連携～
- 美祢社会復帰促進センターの地域と連携した取組
～「みねMarketプロジェクト」～
- 「再犯防止×地方創生」トピックス
第二次再犯防止推進計画が閣議決定されました！

美祢市の御紹介

～美祢社会復帰促進センターとの連携～

山口県美祢市は、山口県西部中央の中山間地域に位置する人口約2万2千人の自治体で、市内には、国の特別天然記念物及び国定公園に指定されている日本最大級のカルスト台地「秋吉台」及び日本屈指の大鍾乳洞「秋芳洞」があり、多くの観光客にお越しいただいています。そんな美祢市には日本初のPFI刑務所「美祢社会復帰促進センター」が所在しているところ、美祢センターは美祢市が自治体として初めて刑務所の誘致を行って開設されたという経緯もあり、様々な連携に取り組んでいます。

美祢市においては、美祢センターを重要な資源のひとつと位置付けて総合戦略にも明記し、また、市独自に「美祢社会復帰促進センター等を活用した地方創生推進事業構想」を策定しています。構想では、「共生意識と雇用の創出」による地域のための新たな価値の創造をコンセプトに、①人材再生、②共生意識醸成、③地域資源の連携、④地域経済活性化の4つの基本方針を掲げ、共生のまちづくりとともに地方創生に取り組んでいるところです。同構想策定前からの取組も含め、いくつか紹介させていただきます。

①においては、地元事業者による刑務作業や職業訓練、外部通働作業での連携拡大に努めているところ、美祢市産の竹を原料にした竹箒の製造作業や特産品である大理石製品の磨き作業などが実施されています。また、美祢センターで製造さ

れる猫ちぐらはふるさと納税の返礼品として登録させていたでています。

②においては、共生のまちづくりを円滑に推進していくため、地域住民、美祢センター職員及び美祢市職員で組織する協議会を定期的に開催しているほか、共生のまちづくりに貢献した個人・団体への表彰制度を設けていたり、美祢センターの矯正展を共催したりしています。

③及び④においては、再犯防止・地方創生連携協力事業として、美祢センターや美祢センター事業への協力事業者、市内事業者等との連携による職業訓練に取り組んでいます。第1弾としてヤフー様の御協力でセンター生が本市の道の駅のストアサイトを制作するネット販売実務科、直近では第2弾としてセイタロウデザイン様の御協力でセンター生が本市の特産品のキャッチコピーを考え広告ポスターの原案を制作する販売戦略科が実施されています。いずれも本市にいただける成果物を地域の活性化に活用させていただいているところです。

今後は、構想の総合的な実現に向けて、美祢センターを含め様々な関係者との連携を深め、再犯防止にも地方創生にも資する取組を実施していけたらと考えています。



地方創生推進事業構想の概要



令和4年度販売戦略科成果物

美祢社会復帰促進センターの地域と連携した取組

～「みねMarketプロジェクト」～

美祢市と美祢社会復帰促進センター（以下「美祢センター」という。）とで連携した取組「みねMarketプロジェクト」について御紹介させていただきます。

本プロジェクトは、令和2年度からスタートし、令和4年度は、美祢センターの受刑者（以下「センター生」という。）が商品（パン）の企画・製造、販売戦略に係るチラシ等の作成を経て、実際に美祢センター近隣住民をお招きした即売会も実施し、多くの方々にご来場いただきました。

特に、今回は美祢市と連携して様々な取組を実施しましたので、その中から三点ほど御紹介いたします。

一点目は、美祢市の公式キャラクター「みねドン」の使用です。「みねドン」については、パン購入時の紙袋や購入者へ配布したシール、ポスターやチラシに掲載しました。

二点目は、販売パンの一つである「みねれんそう」（ネーミングはセンター生考案）の「Mine Collection」認定です。「Mine Collection」については、美祢産の素材を使用していることなど、一定の条件を満たした場合に認定される美祢市の地域ブランド商品であり、「みねれんそう」は、美祢産のほうれん草を使用した美祢センターのオリジナル商品パンとして同ブランドの認定を受け、本プロジェクトのみでの販売にとどまらず、美祢センターにおいて通年販売させていただくこととなりました。

三点目は、広報活動です。センター生が作成したポスターやチラシなどの美祢市役所、市内公民館等への掲示、市報へのチラシの折込み、市の防災アプリによる実施告知など、美祢市に協力いただいたことで、本プロジェクトの開

催に当たり、幅広く効果的な広報活動を実施することができました。

最後に、今回購入者に実施したアンケートにおいて、多くの方々からセンター生に対する温かい励ましの言葉をいただくことができ、今後の継続的な実施を希望する声も多くなりました。そして、その言葉を知ったセンター生の多くが、就労や社会復帰に向けた前向きな思いを感想として記していました。本プロジェクトは、罪を犯したセンター生の社会復帰に向けた改善更生や、地域振興策への貢献、さらには再犯防止等に係る地域住民の関心・理解の促進等を目的とするものですが、着実に達成できているものと考えています。今後も、これまで得られた成果や明らかになった課題等を踏まえた上で、美祢市を含めた各関係機関と協議を重ね、地域の皆様に理解され、かつ、センター生の再犯防止に資する取組として、更なる充実・発展を目指していきたいと考えています。



センター生によるパンの製造状況



即売会の様子

